

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	LZ-SAA標準Q‘栄研’
製品コード	G-SZ75
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422
推奨用途及び使用上の制限	測定用標準物質として使用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類実施日	R2.3、政府向けGHS分類ガイダンス(令和元年度改訂版(Ver. 2.0))を使用 GHS改訂4版を使用
-------	-------	--

含有物の危険有害性を以下に示す。

物理化学的危険性 健康に対する有害性	引火性液体	2-メトキシエタノール 区分3	エタノール 区分2
	急性毒性(経皮)	区分4	-
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分4	-
	生殖毒性	区分1B	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(血液系、中枢神経系、腎臓) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(血液系、精巣)	区分1(肝臓) 区分2(中枢神経系)
	眼に対する重篤な損傷外/眼刺激性	-	区分2B
	発がん性	-	区分1A

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険	引火性液体及び蒸気
	皮膚に接触すると有害(経皮)
	吸入すると有害(蒸気)
	呼吸器への刺激のおそれ
	眠気又はめまいのおそれ
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
	中枢神経系、血液系、腎臓の障害
	長期間にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害:肝臓
	長期間にわたる、又は反復ばく露による血液系、精巣の障害
	眼刺激
	発がんのおそれ
	臓器の障害:血液系、中枢神経系、肝臓

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置	<p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。</p>
保管	<p>内容物／容器を承認された専門の廃棄物処理業者に 依頼して廃棄すること。</p>
廃棄	情報なし
他の危険有害性	情報なし
国・地域情報	知見なし
3. 組成及び成分情報	
単一製品・混合物の区別	混合製品
組成・成分	
化学名又は一般名	2-メトキシエタノール
別名	エチレングリコールモノメチルエーテル
濃度又は濃度範囲	20vol%
分子式(分子量)	C ₃ H ₈ O ₂
化学特性(示性式又は構造式)	C ₃ H ₈ O ₂
CAS番号	109-86-4
官報公示整理番号(化審法)	(2)-405
官報公示整理番号(安衛法)	(2)-405
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし
組成・成分	
化学名又は一般名	エタノール
別名	エチルアルコール
濃度又は濃度範囲	2.7vol%
分子式(分子量)	C ₂ H ₆ O
化学特性(示性式又は構造式)	C ₂ H ₅ OH
CAS番号	64-17-5
官報公示整理番号(化審法)	(2)-202
官報公示整理番号(安衛法)	既存
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし
4. 応急措置	
吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。</p>
皮膚に付着した場合	皮膚を流水、シャワーで洗うこと。炎症を生じた時は医師の手当を受けること。
眼に入った場合	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。</p>
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	
吸入	錯乱、咳、咽頭痛、めまい、頭痛、吐き気、意識喪失、嘔吐、脱力感
皮膚	吸収される可能性あり
眼	発赤、痛み、かすみ眼
経口摂取	腹痛、下痢、吐き気、嘔吐
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし
5. 火災時の措置	
消火剤	水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	<p>燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、 消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 引火性である。</p>
特有の消火方法	<p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。</p>
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材
回収・中和
二次災害防止策

作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境排出しないように注意する。

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策
局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項

保管 接触回避
衛生対策
安全な保管条件
技術的対策
保管条件
安全な容器包装材料

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
取扱い後はよく手を洗うこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
取扱い後はよく手を洗うこと。
直射日光を避け、換気の良い冷暗所で密閉した容器に保管する。
消防法の規制に従う。
光及び冷風を避けて、2～8℃に凍結させないように保管する。
ガラス、ポリエチレン、アルミニウムパック、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度
(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
日本産衛学会(2014年度版)
AGGIH(2014年版)
設備対策

保護具 呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
衛生対策

0.1ppm
0.1ppm 0.31mg/m3
STEL: 未設定
TWA: 0.1 ppm
屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

LZ-SAA標準Q‘栄研’

物理的状态

形状	液体
色	無色透明
臭い	特になし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	指定の保管条件及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性	指定の保管条件及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	日光、熱、湿気
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口LD50	2-メトキシエタノール LD50(Rat): 2370-5490mg/kg
	経皮LD50	LD50(Rabbit): 1280-3920mg/kg
	吸入LC50	1478ppm (Rat)7h

皮膚腐食性及び刺激性 NITEのGHS分類に基づく

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 NITEのGHS分類に基づく

呼吸器感受性 NITEのGHS分類に基づく

皮膚感受性 NITEのGHS分類に基づく

生殖細胞変異原性 NITEのGHS分類に基づく

発がん性 NITEのGHS分類に基づく

生殖毒性 NITEのGHS分類に基づく

特定標的臓器毒性(単回ばく露) NITEのGHS分類に基づく

特定標的臓器毒性(反復ばく露) NITEのGHS分類に基づく

吸引性呼吸器有害性 NITEのGHS分類に基づく

急性毒性 経口LD50 エタノール
6200mg/kg (Rat)

経皮LD50 20000mg/kg(Rabbit)

吸入LC50 63000ppmV(Rat)4h

皮膚腐食性及び刺激性 NITEのGHS分類に基づく

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 NITEのGHS分類に基づく

呼吸器感受性 NITEのGHS分類に基づく

皮膚感受性 NITEのGHS分類に基づく

生殖細胞変異原性 NITEのGHS分類に基づく

発がん性 NITEのGHS分類に基づく

生殖毒性 NITEのGHS分類に基づく

特定標的臓器毒性(単回ばく露) NITEのGHS分類に基づく

特定標的臓器毒性(反復ばく露) NITEのGHS分類に基づく

吸引性呼吸器有害性 NITEのGHS分類に基づく

12. 環境影響情報

生態毒性 藻類/水生植物 2-メトキシエタノール
ErC50(Pseudokirchneriella subcapitata)
93.2mg/172h

魚 LC50(Oryzias layipes):>88.9mg/196h

甲殻類 EC50(Daphnia magna):>84.8mg/148h

残留性・分解性	分解度:74-94% by BOD
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性移動性	利用可能な情報はない
生態毒性 藻類/水生植物	エタノール EC50:Chlorella alga1000mg/L96h
魚	LC50:Oncorhynchus11200ppm96h
甲殻類	EC50 :Daphnia magna5463mg/L48h
残留性・分解性	分解度:89% by BOD
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性移動性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

	2-メトキシエタノール
ADR/RID(陸上)	
国連番号	UN1188
国連品名	エチレングリコールモノメチルエーテル
国連危険有害性クラス	3
副次危険	情報なし
容器等級	III
海洋汚染物質	該当しない
IMDG(海上)	
国連番号	UN1188
国連品名	エチレングリコールモノメチルエーテル
国連危険有害性クラス	3
副次危険	情報なし
容器等級	III
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	利用可能な情報はない
IATA(航空)	
国連番号	UN1188
国連品名	エチレングリコールモノメチルエーテル
国連危険有害性クラス	3
副次危険	情報なし
容器等級	III
環境有害物質	該当しない
	エタノール
ADR/RID(陸上)	
国連番号	UN1170
国連品名	エタノール
国連危険有害性クラス	3
副次危険	情報なし
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない

IMDG(海上)
 国連番号 UN1170
 国連品名 エタノール
 国連危険有害性クラス 3
 副次危険 情報なし
 容器等級 II
 海洋汚染物質 該当しない
 MARPOL73/78附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質 利用可能な情報は無い

IATA(航空)
 国連番号 UN1170
 国連品名 エタノール
 国連危険有害性クラス 3
 副次危険 情報なし
 容器等級 II
 環境有害物質 該当しない

15. 適用法令

消防法 第四類引火性液体第二石油類水溶性液体 危険等級Ⅲ【2-メトキシエタノール】
 第四類引火性液体アルコール類 危険等級Ⅱ【エタノール】

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物【2-メトキシエタノール】【エタノール】
 名称等を通知すべき危険物及び有害物【2-メトキシエタノール】【エタノール】
 第2種有機溶剤等【2-メトキシエタノール】
 危険物・引火性の物【2-メトキシエタノール】
 危険物・引火性の物【エタノール】
 作業環境評価基準【2-メトキシエタノール】
 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者【2-メトキシエタノール】

化審法 優先評価化学物質【2-メトキシエタノール】

航空法 引火性液体【2-メトキシエタノール】【エタノール】

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 第一種指定化学物質【2-メトキシエタノール】

海洋汚染防止法 有害液体物質Z類物質【エタノール】

輸出貿易管理令 非該当

大気汚染防止法 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質【2-メトキシエタノール】
 揮発性有機化合物【2-メトキシエタノール】【エタノール】

外国為替及び外国貿易法 輸出貿易管理令別表第1の16の項【2-メトキシエタノール】【エタノール】
 輸出貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」【2-メトキシエタノール】【エタノール】

特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法) 特定有害廃棄物【2-メトキシエタノール】【エタノール】

船舶安全法 引火性液体類【2-メトキシエタノール】【エタノール】

港則法 その他の危険物・引火性液体類
 (法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
 【2-メトキシエタノール】【エタノール】

道路法 車両の通行の制限
 (施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
 【2-メトキシエタノール】【エタノール】

労働基準法 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
 【2-メトキシエタノール】【エタノール】

化学兵器禁止法 有機化学物質(法第29条1、施行令第4条1)【エタノール】

16. その他の情報

参考文献 各データ毎に記載
 SDSは、品質保証書、規格書ではありません。
 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。
 また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。